

海上保安体制強化の取組状況

海上保安庁
令和2年12月21日

最近の我が国周辺海域の状況

我が国周辺海域における重大な事案

○日本海関連

- ・外国漁船等による違法操業（大和堆）
- ・木造船等の漂流・漂着
- ・不審船・工作船の出没
- ・北朝鮮による弾道ミサイル発射



○ロシア関連

- ・ロシア海洋調査船を確認（海洋調査は未確認）
- ・外国漁船による違法操業



○ロシア・北方領土関連

- ・日本漁船の被だ捕（ロシア警備船による銃撃）



○本州東方海域関連

- ・多数の外国漁船の活動



○韓国・竹島関連

- ・外国漁船による違法操業
- ・韓国法執行船との対峙
- ・日本漁船の被だ捕
- ・外国海洋調査船による海洋調査



○尖閣諸島周辺海域関連

- ・外国公船による領海侵入等
- ・中国・台湾活動家等による領有権主張活動
- ・外国漁船による領海侵入
- ・外国海洋調査船による海洋調査
- ・小型無人機（ドローン）らしき物体の飛行
- ・中国公船による日本漁船への接近



尖閣諸島

小笠原諸島

南鳥島

沖ノ鳥島

○南西諸島関連

- ・中国漁船の太平洋進出



○離島・遠方海域関連

- ・外国漁船による違法操業等
- ・外国海洋調査船による海洋調査



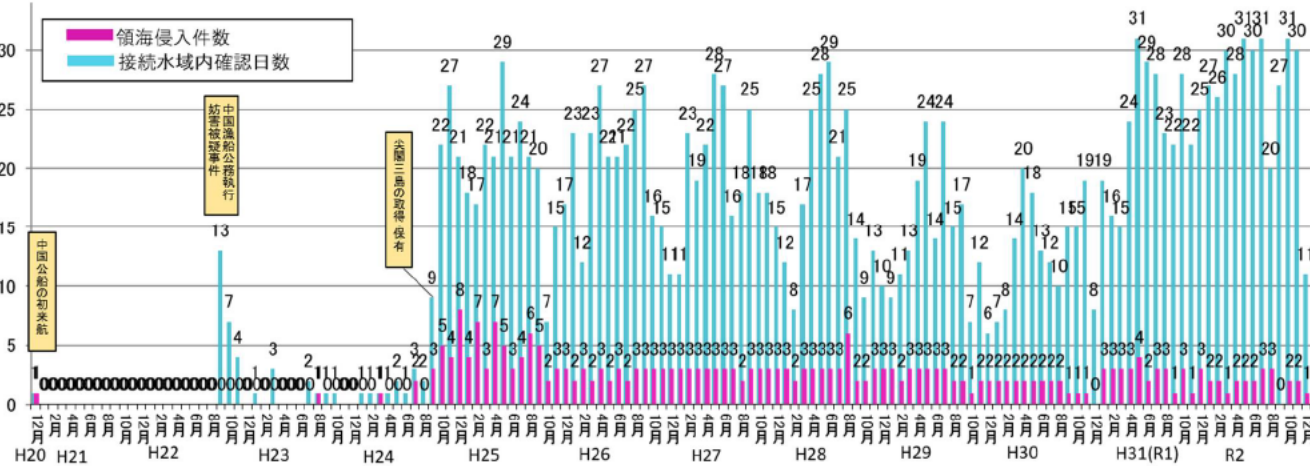
○離島・遠方海域関連

- ・中国漁船による違法操業
- ・離島への不法上陸
- ・覚醒剤等の密輸



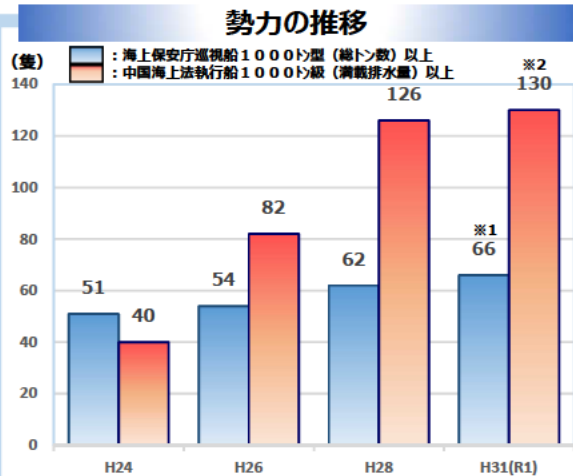
中国公船の増強・大型化・武装化

尖閣諸島周辺海域における中国公船の動向【令和2年12月18日08:00時点】



- ▶ 平成28年9月以降、**中国公船4隻**による領海侵入が多く確認されるようになってきている。
(近年は中国公船3隻による領海侵入が多く確認されていた。)
- ▶ 接続水域内における年間確認日数（最多）：**322日**（令和2年12月18日08:00現在）
※これまでの最多確認日数は、282日（平成31年/令和元年）
- ▶ 接続水域内における連続確認日数（最長）：**111日**（令和2年4月14日～令和2年8月2日）
※これまでの連続確認日数（最長）：64日（平成31年4月12日～令和元年6月14日）

◎中国公船の勢力の推移



※1 令和元年度末の隻数
※2 令和元年12月末現在の隻数 公開情報を基に推定（今後、変動の可能性あり）

◎中国公船の大型化・武装化



大口徑の砲を装備した1万トン級中国公船

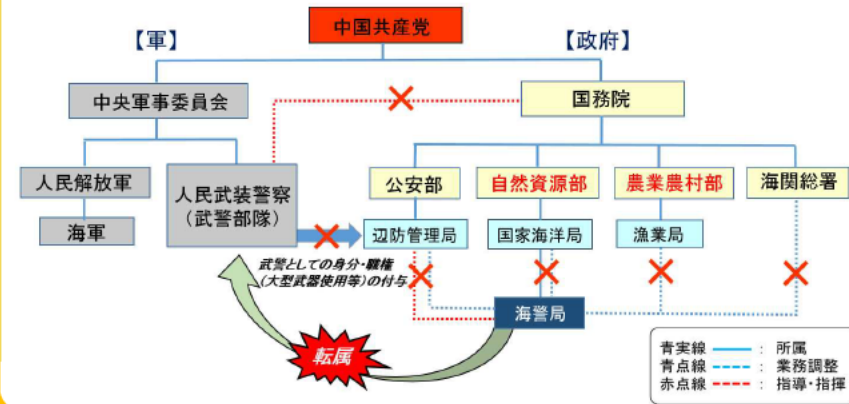


機関砲のようなものを搭載した中国公船

中国海洋法執行機関に係る機構改革

平成30年7月1日より、海警部隊は「中国人民武装警察部隊海警総隊」となり、「中国海警局」と称され、海警局は統一的に海上権益擁護法執行権限※を履行（全人代（平成30年6月）による決定）。

※履行される権限の具体的内容については、公安機関がこれまで行使してきた内容とされる。



中国公船による日本漁船接近事案

令和2年5月、7月、8月、10月、及び11月、尖閣諸島の領海において、中国公船2隻による**日本漁船への接近事案**が発生。
海上保安庁では**日本漁船の安全を確保**するため、**周囲に巡視船を配備**するとともに、中国公船に対し、領海からの**退去要求を実施**。



10月発生事案において、領海侵入時間**過去最長を更新**
※57時間39分（令和2年10月11日～13日）

外国漁船等への退去警告実施隻数

令和2年 延べ107隻 (うち放水措置0隻) (令和2年12月18日08:00現在)

※令和元年 延べ1320隻 (うち放水措置252隻)

外国漁船等への対応状況 (イメージ)



外国漁船等及び北朝鮮公船が確認された海域

大和堆

航空機によるしょう戒を毎日実施し、非常に広大な大和堆周辺海域の情報を効果的に把握、関係省庁に情報共有を行うとともに、その情報をもとに巡視船を適切に配置させ、日本漁船の安全確保を最優先とした対応を実施

北朝鮮公船への対応状況

- ◆令和2年9月29日午前8時頃、大和堆西方の我が国排他的経済水域内で、監視・退去警告活動中の水産庁取締船が北朝鮮公船らしき船舶を確認
- ◆水産庁は、周辺海域で操業中の日本漁船に対して、一時的に同海域からの移動を要請
- ◆巡視船は日本漁船を伴走・警戒し、安全な海域まで保護するとともに、当該公船らしき船舶及び周辺海域を監視
- ◆当該船舶は、関係省庁で情報収集及び分析を進めた結果、北朝鮮公船と特定

外国漁船等の状況



外国漁船等への退去警告の状況



水産庁との連携強化

- ◆水産庁との各種情報共有体制の構築等を通して、連携を強化
- ◆巡視船と取締船の戦略的配置
- ◆取締船との共同訓練の実施 (令和2年5月18日、19日)

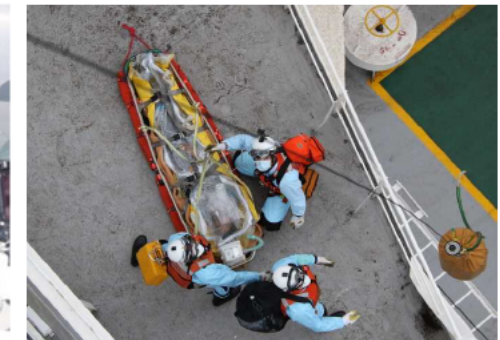


コロナウイルス陽性患者等への対応

※令和2年12月18日08:00現在

▶陽性患者の搬送 [41件155名]

▶疑似症患者の搬送 [28件45名]



▶検体・検疫官等の搬送 [9件59名]

▶邦人帰国支援 [5件6名]



職員の感染防止策

全職員共通の取組 マスク着用、手洗い・うがいの励行、検温による体調管理、新生活様式の実践

陸上部署での取組

- ▶時差出勤（交通混雑回避）
- ▶在宅勤務（テレワーク）の推進

船艇での取組

- ▶マスクや防護衣等、感染防止資器材の整備
- ▶感染防止資器材等の取扱訓練等の実施

令和2年7月豪雨(令和2年7月)

- ◆ 対応状況
- ・ 孤立者救助 (22名)



- ・ 支援物資の搬送 (食料・飲料水 等)



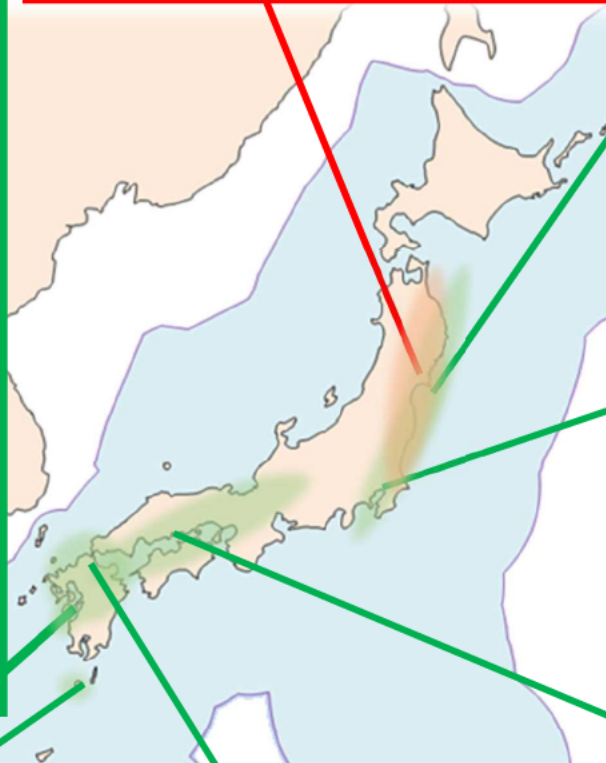
- ・ 巡視船による給水支援 (7/7~10:八代港)



東日本大震災

(平成23年3月)

- ◆ 対応状況
- ・ 負傷者等の搬送
- ・ 支援物資の搬送
- ・ 水路測量
- ・ 航路標識の復旧



令和元年台風19号

(令和元年10月東日本中心)

- ◆ 対応状況
- ・ 孤立者救助
- ・ 巡視船による給水支援
- ・ 巡視船による入浴支援



令和元年台風15号

(令和元年9月関東地方)

- ◆ 対応状況
- ・ 巡視船による給水支援
- ・ 巡視船による入浴支援
- ・ 巡視船による電源供給支援



屋久島豪雨

(令和元年5月)

- ◆ 対応状況
- ・ 災害対応職員の搬送
- ・ 巡視船による給水支援
- ・ 支援物資の搬送



令和元年8月の前線に伴う大雨

(令和元年8月九州北部)

- ◆ 対応状況
- ・ 孤立者救助
- ・ 油防除技術支援



平成30年7月豪雨

(平成30年7月西日本中心)

- ◆ 対応状況
- ・ 負傷者等の搬送
- ・ 巡視船による給水支援
- ・ 支援物資の搬送
- ・ 海上輸送路の安全確保
- ・ 漂流物の回収



【実証期間等】

期間：**令和2年10月15日～11月10日**

場所：離着陸飛行場として**海上自衛隊八戸航空基地**を利用（飛行実証は、日本海及び太平洋の洋上にて実施）

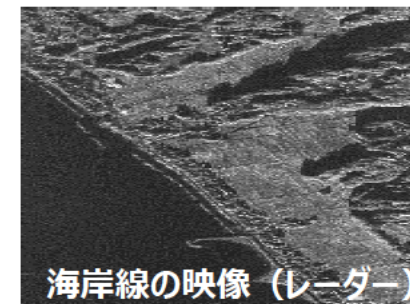
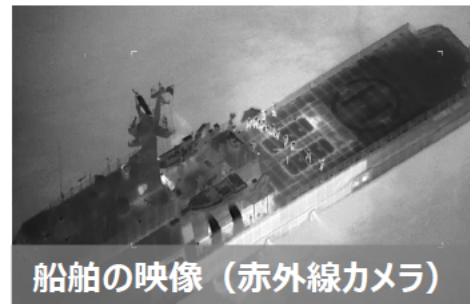
【実証機体】

名称：米国ジェネラル・アトミクス社製 シーガーディアン（MQ-9B）
全長：11.7メートル
全幅：24メートル
最大運用高度：40,000フィート以上（12,192メートル以上）
最大航続時間：35時間
最高速度：200ノット以上
主要搭載機器：外部監視カメラ、衝突回避用レーダー、無線送受信機、可視・赤外線カメラ等




【実証内容】

- ① 高高度における広域監視及び漁船等分布調査
- ② 外国漁船等の探知・調査
- ③ 密輸容疑船舶等の捕捉
- ④ 違法操業船舶等の探証及び警告の実効性
- ⑤ 隠密監視・要救助船舶等の搜索、災害発生時の被害調査等



○昼夜を問わず、長時間の航続性能を確認。

○監視能力は既存の有人機と同等またはそれ以上であることを確認。

 **本実証の結果を精査し、無操縦者航空機の導入の可否を検討中**

海上保安体制整備の進捗状況

※着手済み又は令和2年度までに整備に着手するもの

1 尖閣領海警備体制の強化と大規模事案の同時発生に対応できる体制の整備

- ◆ 中国公船の大型化・武装化等に対応できる巡視船等の整備
- ◆ 大規模事案が同時発生した場合であっても対応できる体制



- ヘリコプター搭載型巡視船：6隻
- 大型巡視船：6隻



2 海洋監視体制の強化

- ◆ 航空機による監視体制に加え、監視拠点の整備等による監視能力の強化
- ◆ 監視情報の集約・分析等に必要の情報通信体制の強化



- 新型ジェット機：4機
- 中型ヘリコプター：1機
- 監視拠点の整備
- 映像伝送機能の強化
- 秘匿通信機能の強化等



3 原発等テロ対処・重要事案対応体制の強化

- ◆ テロ対処等に万全を期すために必要な巡視船による対応体制の強化



- 大型巡視船：3隻（再掲）



4 海洋調査体制の強化

- ◆ 他国による大陸棚延長申請等に対し、我が国としても必要な海洋調査体制を強化



- 大型測量船：2隻
- 既存大型測量船の高機能化：2隻
- 自律型海洋観測装置（AOV）の整備
- 中型飛行機（測量機）：1機



5 基盤整備

- ◆ 海上保安業務対応能力の向上を図るための人材の育成、必要となる定員の増員、教育訓練施設の拡充等



- 定員の増員
- 教育訓練施設の拡充
- 小型飛行機（練習機）：5機
- 小型ヘリコプター（練習機）：1機



「海上保安体制強化に関する方針」に基づき令和2年度補正予算及び令和3年度当初予算において、新たに以下の整備に着手(大型巡視船、練習船、航空機等)

「海上保安体制強化に関する方針」に基づく体制の強化

尖閣領海警備体制の強化と大規模事案の同時発生に対応できる体制の整備

大型巡視船 (PL型) 1隻



(総トン数 1,500トン・全長 96メートル)

中型ヘリコプター (巡視船) 2機



海洋監視体制の強化

中型ヘリコプター (基地) 1機



(イメージ)

基盤整備

大型練習船 1隻



令和2年度・3年度に就役予定の主な巡視船・航空機

令和2年度に就役する巡視船・航空機等



〔 総トン数 約6,500トン・全長 約150メートル
ヘリコプター 1機搭載 〕

ヘリコプター搭載型巡視船 (PLH型) 「あかつき」 (鹿児島)

(令和3年2月16日就役予定)



(総トン数 1,500トン・全長 96メートル)

大型巡視船 (PL型) 「つるが」 (敦賀)

(令和2年5月15日就役済)



(総トン数 約4,000トン・全長 約100メートル)

大型測量船 (HL型) 「光洋」



(総トン数 1,500トン・全長 96メートル)

大型巡視船 (PL型) 「えちぜん」 (敦賀)

(令和2年7月30日就役済)



中型飛行機 (測量機) 「あおばずく」 (仙台)

令和3年度に就役する巡視船・航空機



〔 総トン数 約6,500トン・全長 約150メートル
ヘリコプター 1機搭載 〕

ヘリコプター搭載型巡視船 (PLH型)



新型ジェット機



中型ヘリコプター